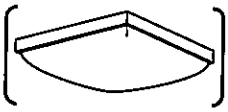
Panasonic®

取扱説明書

保管用
保証書別添付
施工説明付き

住宅用照明器具(シーリングライト)

品番 HFA6568 HFA6568L HFA6595 HFA6595L 

お客様へ このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1〜2ページ)を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ この説明書は必ずお客様にお渡しください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。

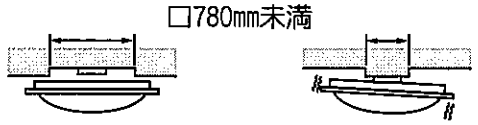
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

禁止

■次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

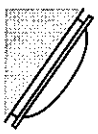
・平面部が□780mm未満の場所(例:下図)



・凹凸のある場所(例:下図)

・補強のない薄い場所(ベニヤ板、石こうボードなど)

・55度を越える傾斜した場所



●この器具は天井面取り付け専用です。

必ず守る

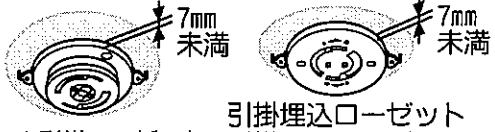
■交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

禁止

■次のような配線器具には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・出しろの少ないもの

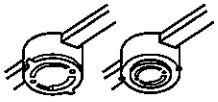


・シーリングハンガーが取り付けられたもの

・がたついたり、破損しているもの

・斜めに取り付けられたもの

・ケースウェイに取り付けられたもの



●販売店、工事店に配線器具の交換を依頼してください。(交換には資格が必要です。)

分解禁止

■器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
●1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき自主点検してください。

接触禁止

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
●この器具は防湿、防雨型ではありません。

必ず守る

■付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

禁止

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
●器具の真下にストーブなどを置かないでください。

■他の調光器と組み合わせて使用しない
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。
●販売店、工事店に調光器の取り外しを依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

使用上のご注意

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなることがあります。
●蛍光灯はランプに風が当たったり冬場など周囲の温度が低い場合には、明るくなるまでに時間がかかったり、点灯直後にちらつきや移動縞(ムービングストライエーション現象)が発生することがあります。
ランプが温まりますと自然に収まりますのでご了承願います。
●非常に短い停電が起こると点灯状態が意図せず切り替わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチ(壁スイッチがない場合はブレーカー)をOFFにしてください。
●天井、壁、床の色や材質により、リモコンの操作距離が短くなることがあります。
●周囲温度が低いと、点灯直後リモコンで切り替わりにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから操作してください。

付属部品の確認

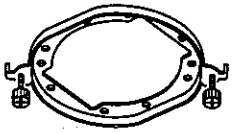
施工する前にまず付属部品をご確認ください

●本体取り付け用付属部品

□配線器具(角型引掛シーリング(1個))

□引掛シーリング用木ネジ(2本)

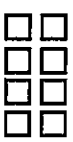
□取付金具(1個) 本体止めネジ(2本)



□取付金具用木ネジ(2本)

□パッキン大(1本)(天井クロス剥がれ防止用)

□パッキン小(8本)(天井クロス剥がれ防止用)

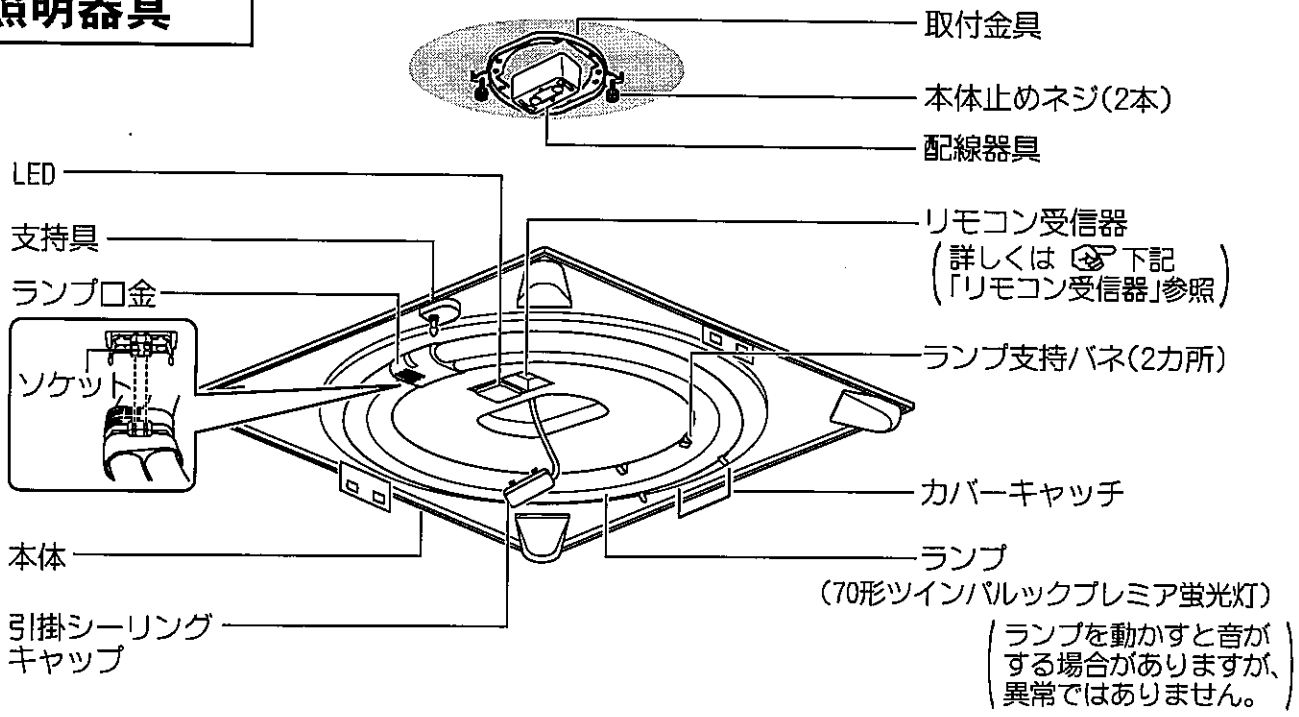


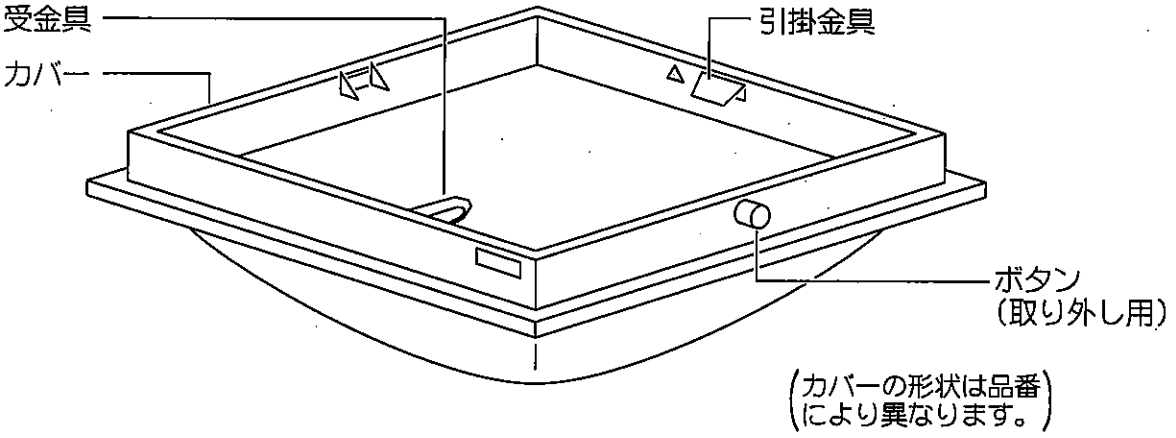
●使用しない付属部品は大切に保管してください。
引っ越しなどで配線器具が変わったときに必要な場合があります。

HFA6568-T3B2

各部のなまえとはたらき

照明器具





リモコン受信器

リセットスイッチ

動作が異常の場合に押します。(注)
(☞10ページ「故障かな？と思ったら」参照)

(注)点灯時の明るさがお買い上げ時の設定に戻ります。

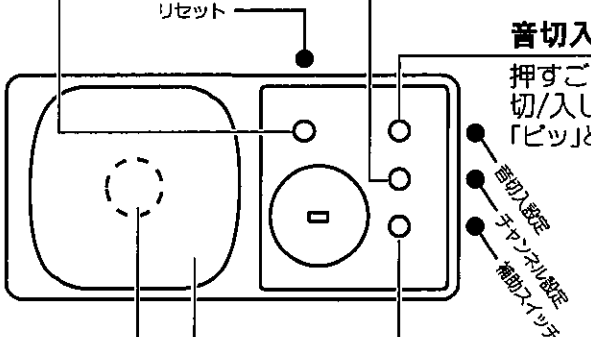
●器具のチャンネル設定が解除されるため、再度設定する必要があります。

(リモコンで設定する)

①リモコンのチャンネルを希望のチャンネルに合わせる
②器具に向けてリモコンのいずれかのボタンを押す
⇨「ピピーッ」と音がして設定完了

(リモコンがない場合)

補助スイッチを押す
⇨ チャンネル2(又はⅠ-2)に設定されます



チャンネル設定スイッチ

器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
(☞8ページ「複数のリモコン器具をそれぞれ操作する場合」参照)

音切入設定スイッチ

押すごとにリモコン操作時の音を切/入します。
「ピッ」と音がして「入」、無音で「切」

補助スイッチ

押すごとに全灯/消灯します。

LED

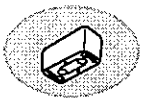
リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
(傷つけたり、汚したりしないでください。)

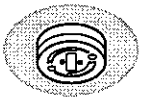
照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

1 天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

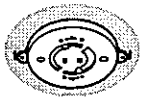
天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。 下記の準備を行ってください。


角型引掛シーリング
WG1000

丸型フル引掛シーリング
WG5005
WG5015

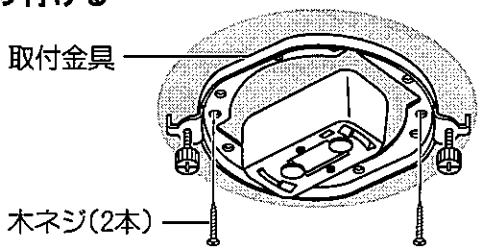

丸型引掛シーリング
WG4000　WG4420
WG4425　WG1500

フル引掛ローゼット
WG6005


引掛埋込ローゼット
WG6000　WG6130
WG6420

付属の取付金具の取り付けが必要です

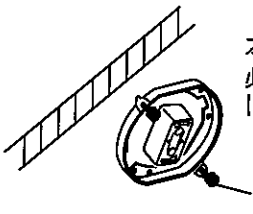
補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で取付金具を取り付ける



⚠警告

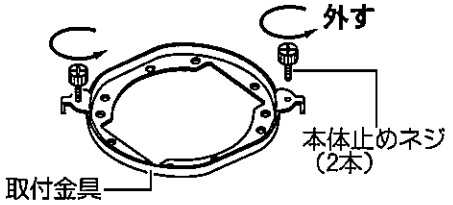
取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する
必ず守る　落下してけがのおそれがあります。

斜め天井の場合

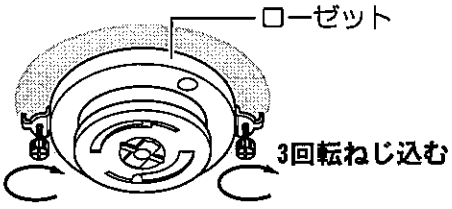


付属の本体止めネジの付け替えが必要です

①取付金具に付いている本体止めネジを外す

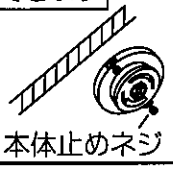


②ローゼットに本体止めネジを仮止めする

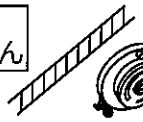


斜め天井の場合

取り付けできます



取り付けできません



ローゼットの取付方向を変える必要があります。販売店、工事店に依頼してください。

●ボルトによる取り付け、アウトレットボックスに取り付ける場合は、販売店、工事店に依頼してください。
ボルト取り付け、アウトレット取り付けをする場合は別売りの取付金具(補修部品:HK956000SU)が必要です。

上記以外の配線器具の場合、または配線器具が設置されていない場合は、取り付けできません。

◎販売店、工事店に同梱の配線器具への取り替え、取り付けをご依頼ください。
◎工事には資格が必要です。

2 天井のクロスを確認して、取り付けの準備をする

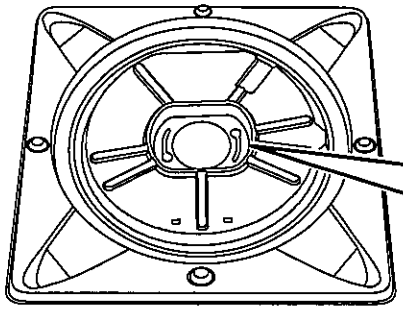
●天井が塩ビクロスまたはオレフィンクロスの場合は付属のパッキンを貼り付けてください。

⚠注意

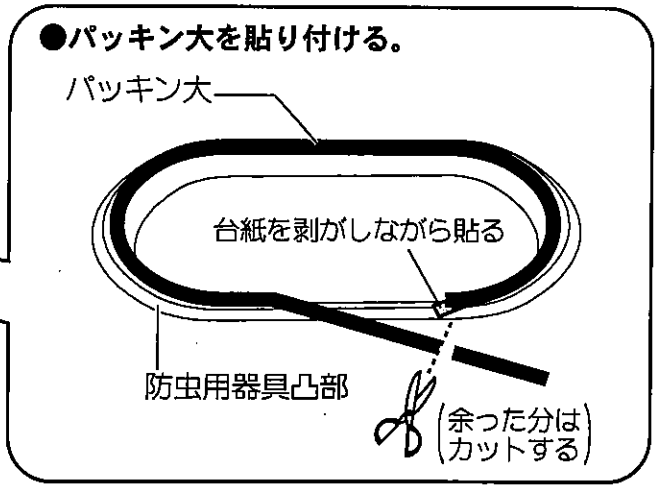
必ず守る　**左記クロスに取り付ける場合は、付属のパッキンを貼り付ける**
本体にクロスが貼り付き、クロス剥がれの原因となることがあります。

照明器具本体への付属パッキン大/小の貼り付け手順

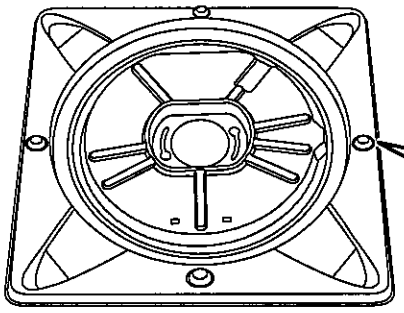
①防虫用器具凸部全周に、パッキン大の台紙を剥がしながら貼り付ける。(余った分はカットする)

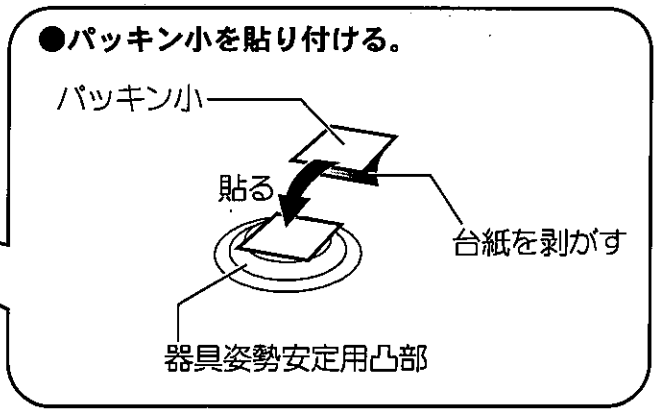


(器具タイプにより凸部の形状が違うものがあります。)

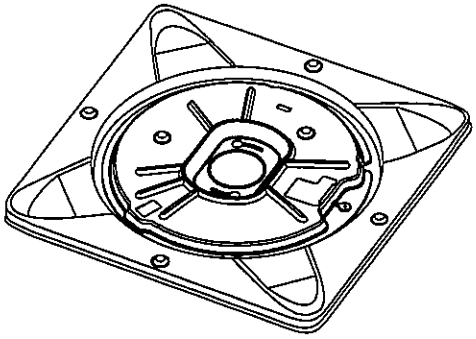


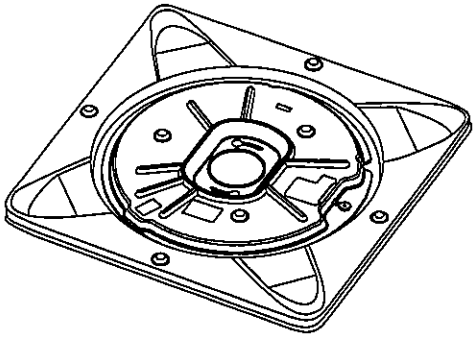
②器具姿勢安定用凸部に、パッキン小の台紙を剥がし貼り付ける。





●器具タイプで凸部の数が違います。
全ての凸部に貼り付けてください。

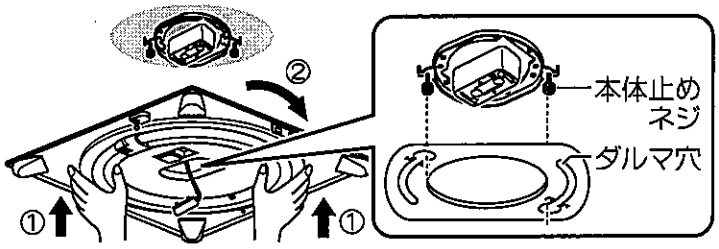




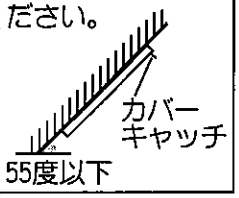
照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

3 本体を取り付ける

①本体止めネジとダルマ穴を合わせて押し上げる
②本体を右に回す
・取り付けの際ランプを持たないでください。



55度以下の斜め天井に取り付ける場合
カバーキャッチが傾斜の上側になるように本体を取り付けてください。
55度を超える天井には取り付けできません。
取り付けに不備があると、カバーの落下によるけがの原因となります。

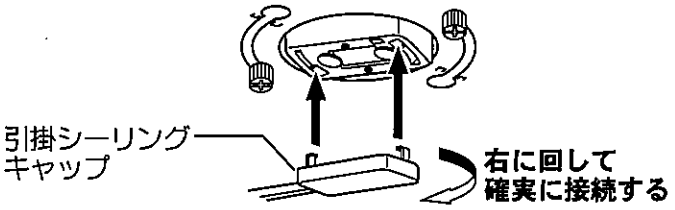


4 本体止めネジ(2本)を締め付ける

確認

●取り付け後、本体ががたついたり、容易に回転したりしないか確認する。
●本体取り付け後、ランプがソケットから浮いていないか確認する。
➡ 浮いている場合は、ソケットにランプ口金を確実に差し込む。

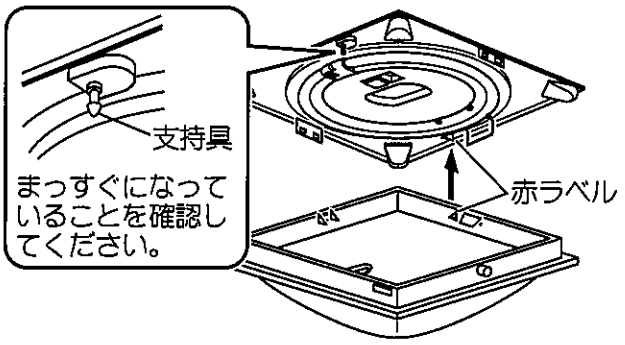
5 引掛シーリングキャップを接続する



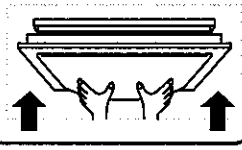
6 カバーを取り付ける

カバーの赤ラベルを本体の赤ラベルに合わせ、「カチッ」と音がするまで押し上げる。

⚠注意	❗必ず守る　カバーは確実に取り付ける 落下してけがのおそれがあります。



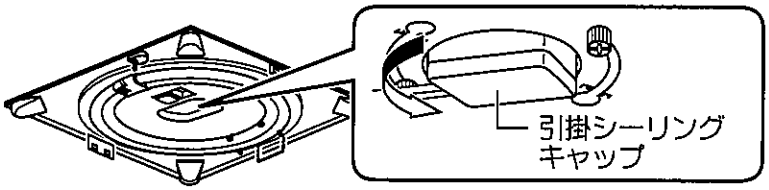
✖ シート部を押し上げないでください。変形・破損の原因となります。



本体の外しかた

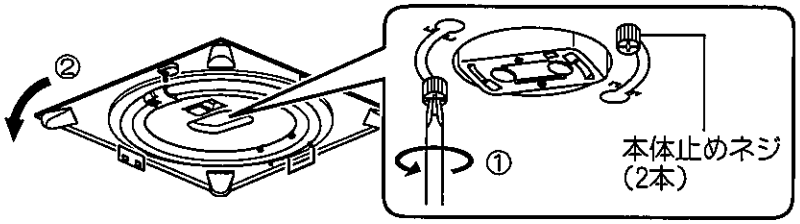
1 引掛シーリングキャップを外す

引掛シーリングキャップを左に回して外す



2 本体を外す

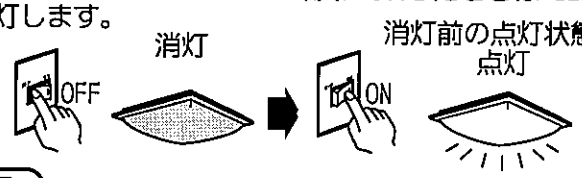
①本体を支えながら
　本体止めネジ(2本)をゆるめる
②本体を左へ回す



壁スイッチで操作する

消灯する・点灯する

●壁スイッチをONすると、消灯前の点灯状態で点灯します。「お好みの明るさ」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「お好みの明るさ」で点灯、「LED」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「LED」で点灯します。



メモ

●壁スイッチをONしても点灯しない場合は、壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。

点灯状態を切り替える

●壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONすると、点灯状態が切り替わります。

メモ

●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
●リモコンで消灯した場合、壁スイッチがONのままだと待機電力(1W以下)を消費しています。長時間使わないときには節電のため壁スイッチをOFFにしてください。

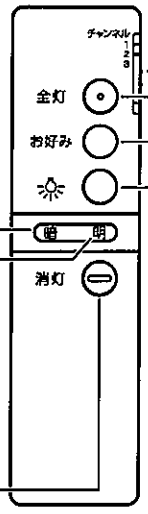
リモコンで操作する

壁スイッチを「ON」にして、器具に向けて操作してください

別売のリモコンを使うと、蛍光灯、LEDの明るさを変えることができます。

HK9327K	●蛍光灯、LEDの明るさを変えることができます。 ●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替えることができます。
HK9392K	●タイマーの機能があります。 ●蛍光灯、LEDの明るさを変えることができます。 ●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替えることができます。

リモコン各部のなまえとはたらき（HK9327Kの使用例）



暗ボタン

蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
蛍光灯:100～約10%の明るさ
ＬＥＤ :6～1段階の明るさ

明ボタン

蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
蛍光灯:約10～100%の明るさ
ＬＥＤ :1～6段階の明るさ

メモ

●「お好みボタン」・「LEDボタン」を押した後、「明/暗ボタン」で明るさを変えた場合、その明るさを記憶します。
(☞下記「お好みの明るさで点灯させる」参照)

消灯ボタン

消灯します。

チャンネルスイッチ

操作したい器具のチャンネル 1～3 に合わせて使います。(お買い上げ時:チャンネル2)
(☞8ページ「複数のリモコン器具をそれぞれ操作する場合」参照)

全灯ボタン

蛍光灯が100%の明るさで点灯します。(注)
(注)押したときの明るさを変えることもできます。
(☞8ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照)

お好みボタン

明/暗ボタンで変えた明るさ(調光)で、蛍光灯が点灯します。
(お買い上げ時:約60%の明るさ)

LEDボタン

明/暗ボタンで変えた明るさで、LEDが点灯します。
(お買い上げ時:100%の明るさ)
●このボタンは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

お好みの明るさで点灯させる

蛍光灯

1 お好み ◯ を押す
2 暗 明 で蛍光灯の明るさを変える

明るさ記憶 → 以後、再び左記の操作を行うまで お好み ◯ を押すたびに、2で変えた明るさで点灯します。

ＬＥＤ

1 ☼ ◯ を押す
2 暗 明 で LEDの明るさを変える

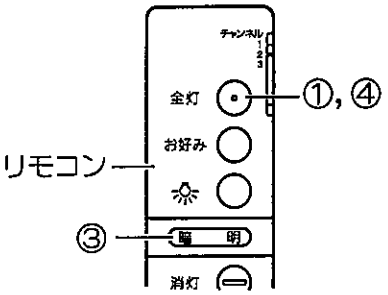
明るさ記憶 → 以後、再び左記の操作を行うまで ☼ ◯ を押すたびに、2で変えた明るさで点灯します。

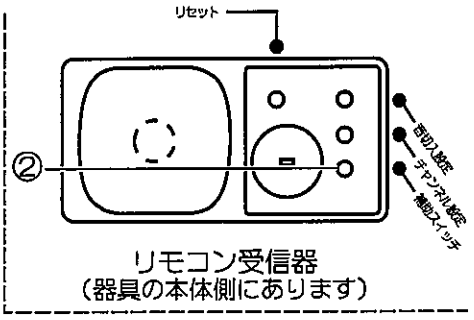
メモ ●リモコン受信器のリセットスイッチを押すと、蛍光灯、LEDともお買い上げ時の明るさに戻ります。

全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを100％～約10％の範囲で設定することができます。

①リモコンの　全灯⊙を押す
②リモコン受信器の補助スイッチを「ピッ」と音がするまで押し続ける
③リモコンの 暗　明 で蛍光灯の明るさを変える
④リモコンの　全灯⊙を押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了



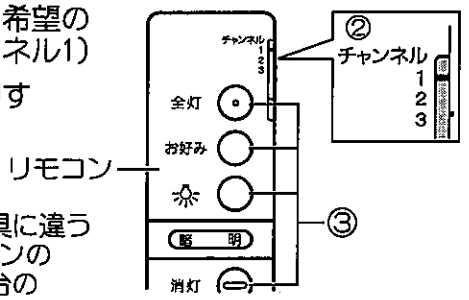


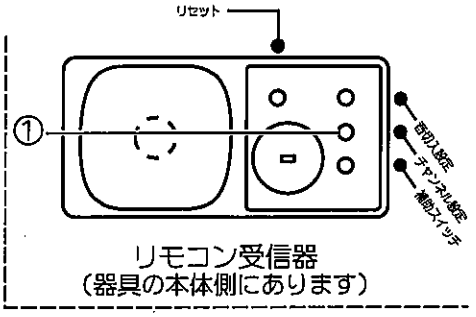
複数のリモコン器具をそれぞれ操作する場合

リモコンのチャンネルを変更すると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。

①リモコン受信器のチャンネル設定スイッチを押す
②リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる（例：チャンネル1）
③リモコンのいずれかのボタンを押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了

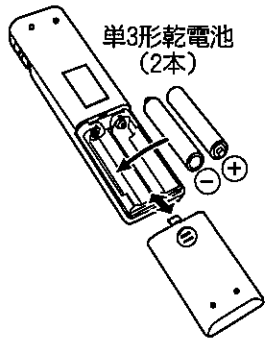
メモ
●2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。





電池交換について

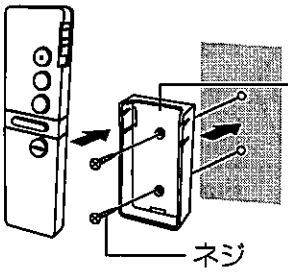
電池交換時期の目安
・乾電池は半年を目安に交換してください。



⚠注意

禁止	■指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない 電池の破裂や液もれの原因となることがあります。 ■使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない 電池の破裂や液もれの原因となることがあります。	必ず守る	■極性表示の通り⊕⊖を正しく入れる 電池の破裂や液もれの原因となることがあります。

リモコンボックスについて



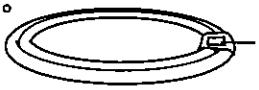
リモコンボックス
紛失防止用に壁掛け収納できます。
●リモコンは必ず器具に向けて操作してください。

HFA6568-T3C2

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●ランプの明るさが低下したり、点滅をくり返したりするようになると寿命です。
パナソニック製ツインパルックプレミア蛍光灯をお買い求めください。
●種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。



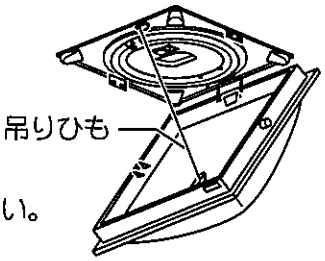
1 カバーを外す

カバー操作ラベルが
見える位置に立ち、
ボタンを押しながら
カバーを引き下げる。

・カバー操作ラベルが貼り付いていない側から外された場合は、器具落下の原因となりますので、再度カバーを装着し、カバー操作ラベル側から外してください。

●吊りひもを取り付けたまま
ランプ交換ができます。

・カバーを仮吊りの状態で
引張ったり、ランプを
カバー内に置かないでください。

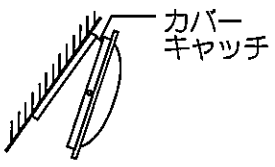


⚠注意

傾斜天井についている場合
カバーキャッチに
カバーを吊り下げたまま
ランプ交換をしない

禁止

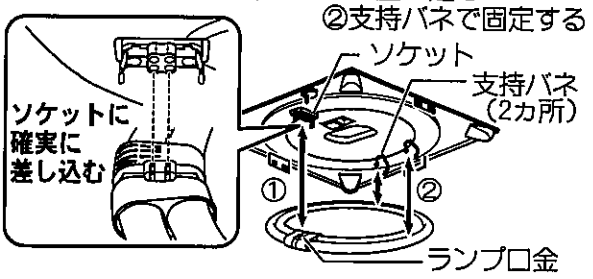
カバー落下によるけがの
原因となることがあります。



2 ランプを交換する

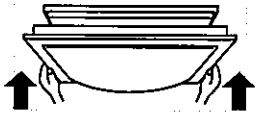
・取り外す
①ランプ口金側を外す
②支持バネ側を外す

・取り付ける
①ランプ口金をソケット
に差し込む
②支持バネで固定する



3 カバーを取り付ける

「カチッ」と音が
するまで押し上げる。



✖ シート部を押し上
げないでください。
変形・破損の原因
となります。

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。
・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

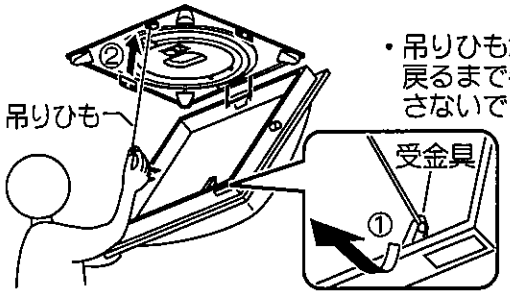
(カバーの取り外しかた)

1 カバーを外す

☞ 上記
「ランプを交換する」
手順 1 参照

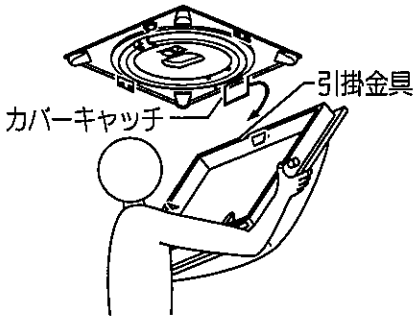
2 吊りひもを外す

①受金具から吊りひもを外す
②吊りひもを本体まで静かに収納する



・吊りひもが完全に
戻るまで手をはな
さないでください。

3 カバーを両手で持ち カバーキャッチから 引掛金具を外す



故障かな？と思ったら　下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置
点灯しない	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットにはめる
	ランプが切れている	ランプを交換する
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする （☞ 7ページ「壁スイッチで操作する」参照）
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを照明器具と合わせて操作する

左記の処置を行っても現象が続く場合

①電源をいったん切り、再度入れる
②器具内スイッチのリセットスイッチを押す
③器具のチャンネルを設定する
（☞3ページ「リモコン受信器」参照）

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、販売店、工事店、別紙ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

仕様　付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付　属　ラ　ン　プ
AC100V	50/60Hz共用	62W（リモコンOFF時、1W以下）	70形ツインバルックプレミア蛍光灯

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・
●修理は、「修理ご相談センター」へ！
●その他は、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）
保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
但し、安定器については3年間です。（ランプなどの消耗品は除きます。）
※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

■補修用性能部品の保有期間 6年
この照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打切り後最低6年間保有しています。
注）補修用性能部品とは、機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

ご連絡いただきたい内容
①製品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④異常の状況（できるだけ具体的に）

●保証期間中は、お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店までご持参ください。販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

●修理料金は次の内容で構成されています。
技術料　診断・修理・調整・点検などの費用です。
部品代　修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料　ご依頼により技術者を派遣する費用です。

パナソニック電工株式会社　インテリア照明事業部
〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008-2010